

鹿乗川流域遺跡群

発掘だより

令和8年度
第1号

令和8年度の発掘調査がはじまりました

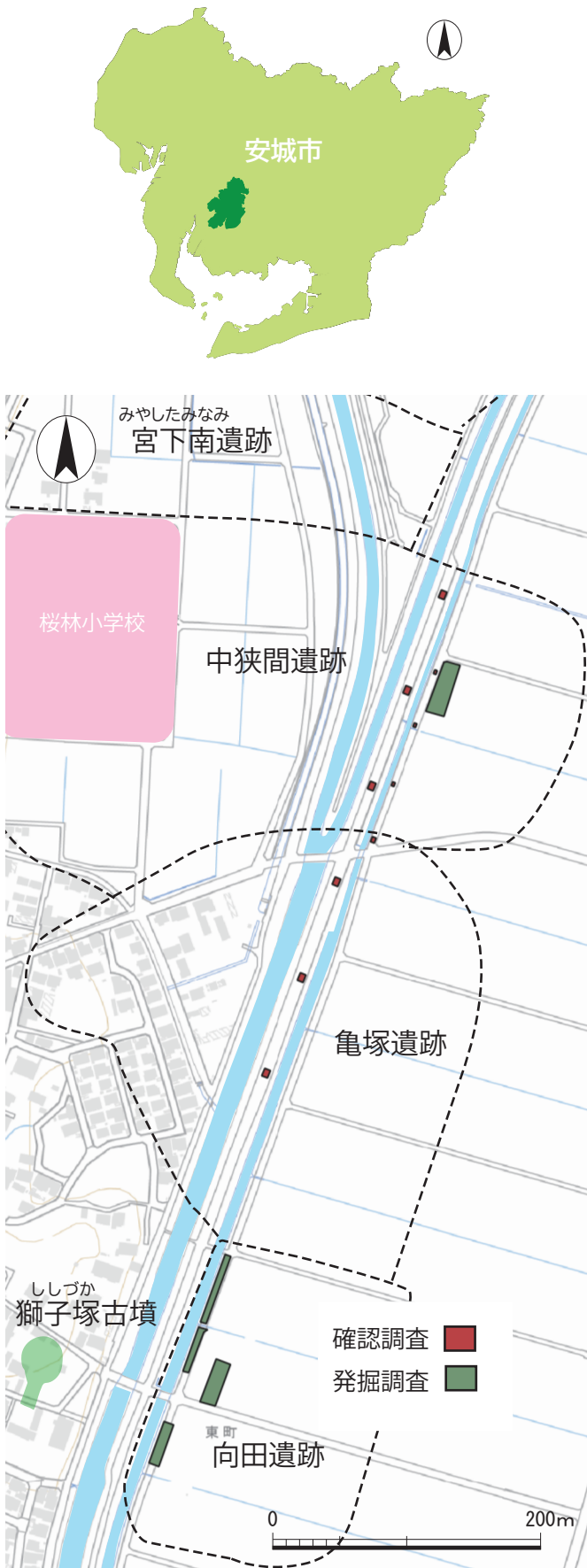
5月中旬より、令和8年度の安城市・鹿乗川流域遺跡群の発掘調査がはじまりました。今年度は、亀塚遺跡の範囲の確認調査と向田遺跡、中狭間遺跡の発掘調査をおこないます。期間は5月中旬～10月末頃の、約半年間の予定です。

鹿乗川流域遺跡群は、碧海台地と西に広がる低地に位置する、

弥生時代から古墳時代（約2,000～1,350年前）を主体とする遺跡群です。

鹿乗川流域遺跡群では、ほ場（田んぼや畑など）や河川の整備に伴って、昭和30年代より発掘調査がおこなわれてきました。現在までに、桜林小学校のあたりを中心に、南北に約5km、東西に約1.5kmの広い範囲にわたって、人々の暮らしていた痕跡が見つかっています。

これに加えて、碧海台地沿いには国指定史跡である二子古墳や姫小川古墳などの古墳群（桜井古墳群）が並んでいます。低地に暮らしていた人々と関係があるようです。



令和8年度発掘調査区

令和7年度の発掘調査

令和7年度は、亀塚遺跡・向田遺跡・ひめした姫下遺跡・中狭間遺跡の発掘調査と確認調査をおこないました。

令和7年度の調査で注目すべきは、姫下遺跡です。調査では、古墳時代前期～中期頃の流路の跡が見つかりました。流路からは土器や木製の農具、鏡の形を模した土製品など、生活や祭りに関わる遺物が出土しました。さらに「せいせん井泉」と呼ばれる特殊な井戸も見つかっています。井泉は主に儀式に用いられたとされ、木組みによって井戸の枠を形成しています。中には鉄てつ鏃（鉄のやじり）や、ガラスの小玉が出土しました。これらも儀式に使っていたと考えられます。



鹿乗川流域遺跡群の遠景（南東から撮影）
（手前は姫下遺跡発掘調査地、令和7年度撮影）



姫下遺跡・井泉の出土状況

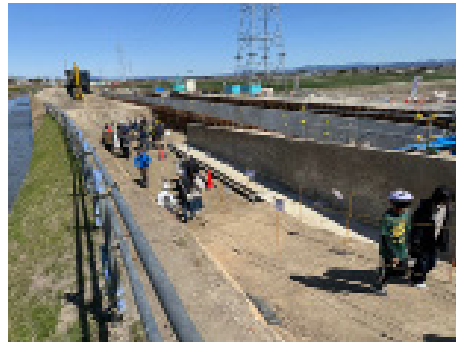
地元説明会のお礼

姫下遺跡の発掘調査成果について、令和8年3月14日（土）に地元説明会を開催しました。

当日は57名もの方々にご参加いただき、会場では調査で確認

された遺構や出土遺物、調査成果の概要について紹介しました。
ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

地元説明会のようす



令和7年度姫下遺跡の
調査の詳細はこちら
（地元説明会資料）

鹿乗川流域遺跡群

発掘だより

令和8年度 第1号

令和8年6月発行

編集・発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方8022の24

電話 (0567) 67-4161【管理課】4163【調査課】

ホームページ <http://www.maibun.com>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

Instagram <https://www.instagram.com/aichimaibun/>

X https://x.com/aichi_maibun

